

# 「持続」できる地域学校協働活動 のシステム構築を目指して



令和7年度 社会教育委員会議



静岡市教育委員会教育総務課

令和8年3月23日（月）

# 静岡市の学校と地域の連携推進のビジョン

## 目指すまちと暮らしの姿

## 第1章 静岡市の特徴と目指すまちと暮らしの姿

静岡市の魅力を十分に活かすことにより、次のようなまちを実現します。

## 誰もが安心して暮らし、幸せを実感し、住み続けたいと感じられるまち

このまちが実現したときに皆さんの暮らしはどのようなになるでしょうか？

### 安心な暮らし

温かい人の心に支えられた地域の中に自分の居場所があり、人々とのつながりを深めながら、心身ともに健やかに暮らし、子育てする人は安心して子育てでき、経済的な心配や災害への不安を抱くことなく、快適な生活環境と緑あふれる空間に包まれて、心地よい暮らしができる

### 幸せの実感

誰もが学びを通じて可能性を広げ、望む仕事に就き、こどもを持ちたい人は希望が叶い、多彩な文化や魅力的な体験を通じて心を豊かにし、人との交流を深め、自分が思い描いた人生を歩み、幸せが実感できる

その結果、まちが輝き、人が輝き、**「世界に輝く静岡」の実現**につながります

しかし、現実はどうでしょうか。第2章「時代認識と現実の直視」で、静岡市の現状を見てみましょう。

第4次静岡市総合計画見直しの内容（静岡市HPより抜粋）

# 静岡市の学校と地域の連携推進のビジョン

## 分野別の政策

## ④教育・人づくり

### 目指すべき未来像

多様な学びと地域の教育力に育まれ、すべての人の可能性が広がり、夢や希望が実現でき、心豊かに暮らすことができるまち

### 政策

03

(学びの環境づくり)こどもたちが地域社会の中で、安心して成長していくことができるまちを実現します

#### 現状と課題

少子化により、従来の学校の規模や配置を維持することが難しくなっている。また、学校の統廃合による通学距離の長距離化に伴い、こどもの安全確保や保護者の負担増加といった課題が生じている。

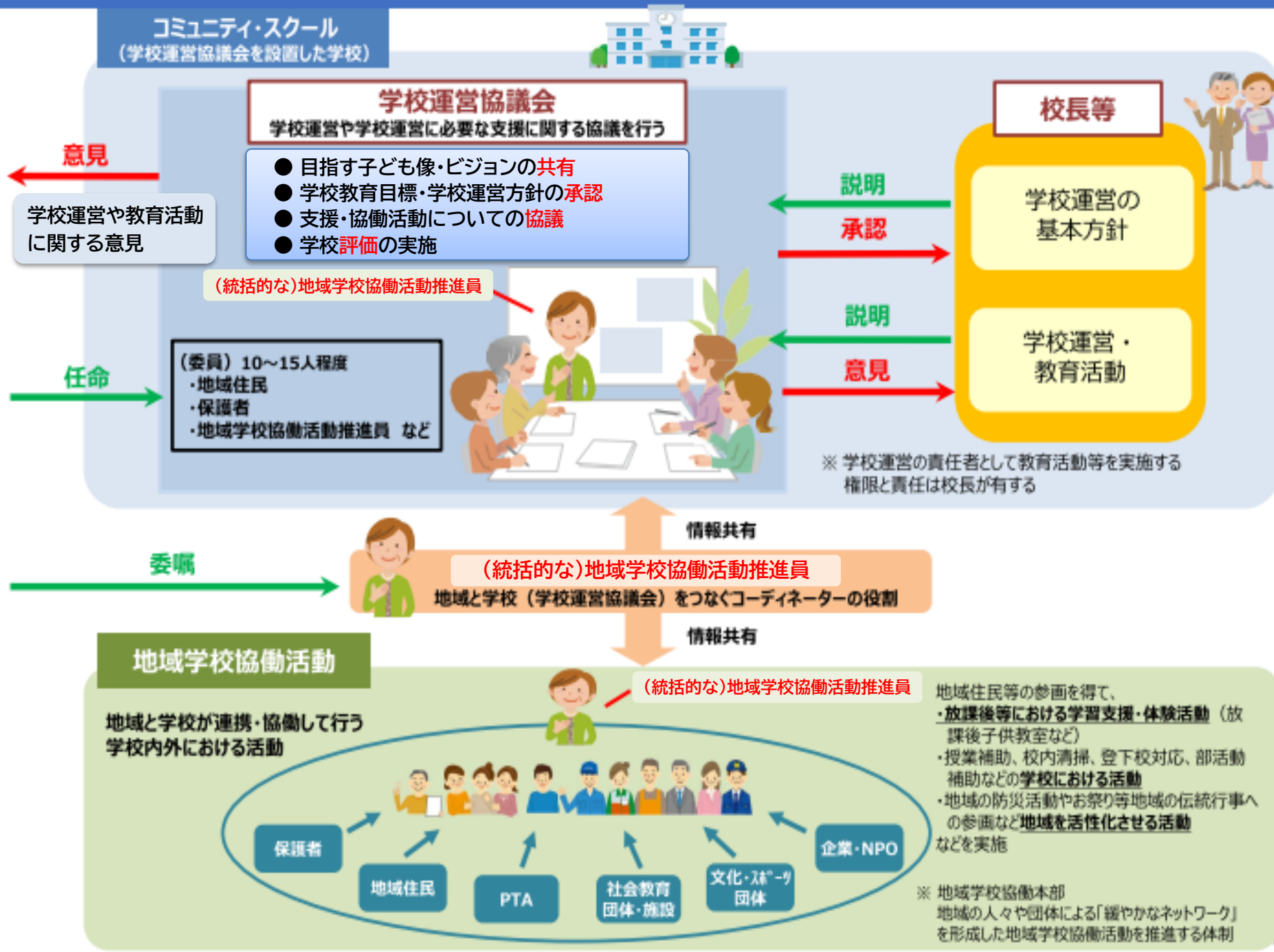
地域全体でこどもの成長を支える仕組みが十分に整っておらず、学校と地域の関係機関・団体との協働体制や相互理解の強化が求められている。

#### 解決策

小・中学校の適正規模・適正配置を進めるとともに、スクールバスの導入や通学費用の助成など、遠距離通学となるこどもへの支援を充実させます。

地域と学校が共通のビジョンのもと連携し、登下校時の見守りや放課後こども教室など地域との協働活動を推進することにより、こどもが地域の大人や関係機関、民間団体と関わり、見守られながら成長できる仕組みを充実させます。

# コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進





# 静岡市におけるコミュニティ・スクールのイメージ

A中学校区

A中学校

統括的な地域学校協働活動推進員  
(中学校区に1名配置)

連携

地域学校協働活動

学校応援団

保護者・PTA・地域住民 など

協働

A中 学校支援部会

学校運営協議会

共有  
承認

意見  
評価

- 目指す子ども像・ビジョンの共有
- 学校目標・学校運営方針の承認
- 支援・協働活動についての協議
- 学校評価の実施

B小  
学校支援部会

B小学校

地域学校協働活動  
推進員  
(小学校に1名配置)

C小  
学校支援部会

C小学校

地域学校協働活動  
推進員  
(小学校に1名配置)

連携

協働

地域学校協働活動

学校応援団

放課後子ども教室

保護者・PTA・地域住民 など

連携

協働

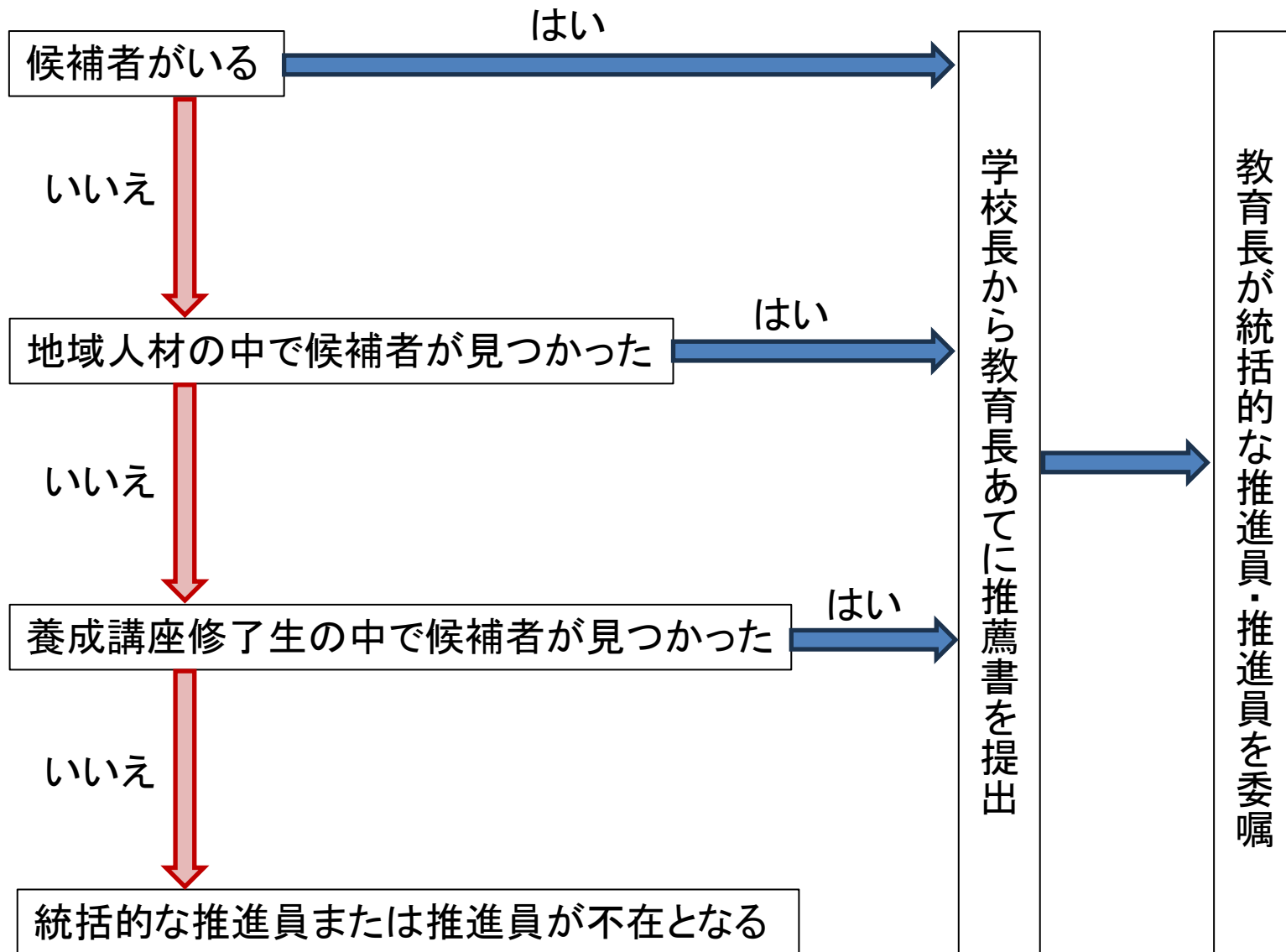
地域学校協働活動

学校応援団

放課後子ども教室

保護者・PTA・地域住民 など

# 統括的な推進員・推進員委嘱までの流れ



# 学校応援団と放課後子ども教室

## ●学校応援団(市内全小中学校で実施)

学校支援ボランティアによる、  
多くの触れ合いと学校教育の充実を！

保護者や地域の皆さんのボランティアにより、学校の教育活動を支援する取組です。地域住民、企業関係者、学生により、学校ごとに様々な支援活動が行われています。学校教育の充実だけでなく、地域の方との触れ合いにつながっています。

### 学校応援団の風景

#### 環境整備



花の応援団



机・椅子の調整

#### 体験活動



稲刈り体験

#### 安全見守り



プール見守り

#### 学習支援



地域探訪



職業体験

#### 読み聞かせ



本の読み聞かせ



交通安全教室



琴の学習

## ●放課後子ども教室(市内79小学校で実施)

子どもたちに豊かな放課後の活動の場を！

各小学校で立ち上げた実行委員会を中心に、放課後の時間に、様々な体験や学習の場を提供しています。子どもたちが、地域社会の中で健やかに育まれる環境づくりを進めています。

### 放課後子ども教室の風景

#### 学習活動



囲碁教室

#### 校庭遊び



水鉄砲遊び

#### 体験活動



廃材で工作体験

#### 室内遊び



いぶんいぶんごまを作ろう



サッカー教室



太鼓体験

統括的な推進員・推進員が、学校からの依頼に応じ、ボランティア募集、当日に向けての学校と地域人材間の連絡調整、必要に応じて当日の運営を担う。

推進員が、実行委員会と協議しながら、放課後子ども教室の計画、スタッフ間や関係各所との連絡調整を担う。推進員が、毎回必ず放課後子ども教室の現場責任者となっているわけではなく、スタッフの中から現場責任者を決めて行っている場合もある。

# R6年度 学校応援団（ボランティア）活動実績

|     | 学習支援   | 部活動   | 環境整備   | 学校安全    | 学校行事  | その他    | 延べ人数    |
|-----|--------|-------|--------|---------|-------|--------|---------|
| 小学校 | 22,396 | 157   | 12,426 | 129,355 | 1,009 | 10,064 | 175,407 |
| 中学校 | 1,925  | 2,091 | 7,349  | 3,330   | 518   | 928    | 16,141  |
| 合計  | 24,321 | 2,248 | 19,775 | 132,685 | 1,527 | 10,992 | 191,548 |

R6地域学校協働実績報告書（年間・市内全小中学校）

統括的な推進員・推進員は、「学習支援」「環境整備」のボランティア募集のコーディネートに関わることが多い。統括的な推進員・推進員によって、学校と地域人材との連携がスムーズになり、地域人材を生かした学びが展開できることで、子どもたちの学びの質向上につながる。



## ◆統括的な地域学校協働活動推進員 …中学校区に1名

- 中学校区の中心的な役割…推進員との連携・連絡調整
- 小中一貫学校運営協議会に委員として参加
- 中学校または中学校区全体の学校応援団活動のコーディネート
- 地域ボランティアの募集・確保、広報活動など

## ◆地域学校協働活動推進員 …小学校ごとに1名

- 所属校(小学校)の放課後子ども教室の企画・運営(79小学校で実施)
- 所属校(小学校)の学校応援団活動のコーディネート
- 地域ボランティアの募集・確保、広報活動など

## R7年度 統括的な推進員・推進員配置状況

### ○統括的な推進員 35名

配置・・・35中学校区

未配置・・・2中学校区(美和中・竜爪中)

施設一体型小中一貫校は配置不可・・・6小中学校  
(大河内・梅ヶ島・玉川・井川・大川・両河内小中)

※美和中・竜爪中は適任者不在により未配置。

### ○推進員 84名

配置・・・80小学校

未配置・・・1小学校(美和小)

※安西・新通・番町・清水有度一小は「学校応援団担当」「放課後子ども教室担当」と分けているため、2人体制。

※美和小は適任者不在により未配置。

上記のうち、統括な推進員と推進員を兼務している・・・8名

#### <R6年度 活動状況>

○統括的な推進員・・・年間11,218時間 1人あたり約312時間/年

○推進員・・・年間16,263時間 1人あたり約194時間/年

有償ボランティアとして、1時間あたり1,120円謝金支払いをしている

## 地域との連携が活性化

・統括的な推進員（推進員と兼務）と安倍川中グループの校長が連携し、地域学習につながる地域人材にお願いをし、地域と語る会を実施。

### R6.8.1 地域と語る会(安倍川中グループ)

- ・中学校区の地域の方、教員が参加。
  - ・地域の方が学習につながるブース(まちおこし、花火大会、商店街、伝統工芸、放課後子ども教室等)を設置し、教員がブースを回って話を聞いたり、相談したりする。
- 夏休み以降の授業に生かしていく。＝子どもの学習の充実へ



# 中学校でも広がる学校応援団(城内中G・観山中G)



## 城内中2年生 総合学習 地域探訪 サポートボランティア募集



JATコミュニティ・スクール  
地域学校協働活動推進員  
J 城内中  
A 葵小  
T 伝馬町小

城内中2年生が総合学習の一環として、ボランティアガイド「駿府ウェイブ」さんの案内で学区内の地域探訪に出かけます。  
1グループ生徒10名につきガイドさん1人の編成のため、生徒の見守り付き添いをしていただくサポートボランティアさんを募集します。  
子どもたちと一緒に、学区内の歴史を知るウォーキングに出かけてみませんか。  
城内中保護者の方はもちろん、葵小・伝馬町小の保護者の方、地域の皆様もぜひご参加・ご協力ください。よろしくお願いします。

活動日時： 令和7年6月13日(金) 13:00~15:15  
城内中集合ー地域探訪サポートー城内中解散  
歩きやすい靴・服装でご参加ください。  
雨天でも活動します。  
警報が出た場合には当日朝に連絡致します。

募集人数： 14名

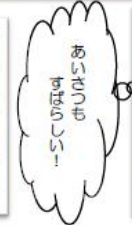
※なお、中2保護者の方が参加して下さる場合でも  
ご自分のお子さんのグループにつけるとは限りません。

応募〆切： 6月2日(月)夜まで

### 観山中

### 《赤ペン先生学習会》

6月3日、今年度最初の赤ペン先生学習会(3年生)を行いました。5月に一大イベントである修学旅行を終えたばかりでしたが、生徒たちは気持ちを切り替え、定期テストに向けて取り組んでいました。  
ボランティアさんの言葉「間違いを指摘しても、素直に対応してくれる。嬉しいですね。この間違いが、テストに生きてほしいです。」



### 《図書ボランティア》



前回まで70分間だった赤ペン先生学習会ですが、今回から50分間になりました。時間内に終わらせようと、生徒たちは最後の最後までがんばっていました。



今年度から新しい司書の先生になり、初めてのボランティア作業です。数日間に分けて、新しく購入した本のブックコートを行いました。  
初めて参加して下さったボランティアさんも、あっという間に手順を覚え、その日のうちに何冊もフィルムをかけてくださいました。  
会話をしみながら、作業の手は止めず、みるみるうちに本が積み上がっていきました！



# 地域を盛り上げる子どもたち(袖師中G)

桜 袖師地区 桜

3月23日(日)

袖師4区スポーツ公園

## 桜まつり

桜はまだ開花していないものの、汗ばむ気温から揚げにビールなど、団体による出店が並び、ちびっこ広場に健康コーナーまで、たくさんの人たちが集います。ステージでは袖師小児童の演舞をはじめ、袖師地区みんなで春の訪れを盛り上げ、袖師地区みんなで春の訪れ

地域学校協働活動によって、子どもたちと地域とのつながりが生まれ、今度は子どもたちが地域を盛り上げる存在になってきています。

(統括的な)推進員の皆さんが、学校と地域をつないでくれている大きな成果です。



袖師中ふれあいコーナーのテラスでお手伝い。出店をまわっておいしい食べ物や健康チェックをしたり、パン食い競争に参加したり、春休みの一日を満喫。



袖師中学校からは 18名がボランティアとして参加！

### ・袖師中ふれあいコーナー

宝さがし、モグラたたき、魚釣り、的あてゲーム

### ・美術部コーナー

「笑顔文字でお名前や好きな言葉、描きます！」

### ・掲示コーナー(サンドイッチマン)

「袖師中学校の生徒と地域の皆さんとの一年間の歩み」(学校だより「自主独立」より)

統括的な推進員・推進員の活躍は  
大きく、学校にとって  
必要不可欠な存在となってきた。  
さらに・・・

## －「3分類」に係る取組状況－

### 基本的には学校以外が担うべき業務

| 取組内容                                                                                                                                | ★：実施率（※1）が80%以上の項目<br>↑：R5調査に比べて5%以上増加している項目 | 都道府県<br>(n=47) | 政令市<br>(n=20) | 市区町村<br>(n=1,731) | 総計<br>(n=1,798) |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|----------------|---------------|-------------------|-----------------|
| ①登下校時の対応は、 <b>学校以外の主体</b> （地方公共団体、教育委員会、保護者、スクールガード・リーダー、地域人材等）が中心に対応している                                                           |                                              | 47.4%↑         | ★85.0%        | 73.0%↑            | 72.6%↑          |
| ②放課後から夜間等における見回り、児童生徒が補導された時の対応は、 <b>学校以外の主体</b> （地方公共団体、教育委員会、保護者、地域人材等）が中心に対応している                                                 |                                              | 38.3%↑         | 45.0%↑        | 44.9%↑            | 44.7%↑          |
| ③ <b>学校徴収金</b> （給食費を含む）の徴収・管理は、 <b>公会計化または教師が関与しない方法</b> （地方公共団体や教育委員会による徴収・管理を含む）で徴収・管理等を行っている                                     |                                              | 68.1%          | 70.0%↑        | 45.9%             | 46.7%           |
| ④ <b>地域人材等との連絡調整</b> は、窓口となる学校職員が直接行うのではなく、 <b>地域学校協働活動推進員</b> （社会教育法第9条の7）等の <b>学校以外の主体</b> が中心に行うよう、地方公共団体や教育委員会等において必要な取組を実施している |                                              | 38.3%↑         | 70.0%↑        | 50.7%             | <b>50.6%</b>    |

※1 各取組について、【a:既に実施した又は実施中】【b:実施に向けて検討中】【c:特に取り組んでいない、取り組む予定はない】のうち、【a:既に実施した又は実施中】を選んだ自治体の割合を「実施率」としている。

※2 問①は、所管する全ての学校において、該当する業務がない教育委員会数を対象から除いた上で実施率を算出している。



地方創生2.0基本構想（令和7年6月13日閣議決定）（抜粋）

### 6. 政策パッケージ

（1）安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

#### ③地域に愛着を持ち、地域で活躍する人材の育成

##### i. 学校と地域との連携の深化、学校を核とした魅力的な地域づくり

保護者や地域住民等が学校運営に参画するコミュニティ・スクールと、地域住民や地元産業界等が参画する地域学校協働活動の一体的な取組の推進に向けて、地域学校協働活動推進員の配置促進を含む支援を行う。また、過疎・離島地域を含む公立高校などへの支援の拡充を図る。特に、専門高校においては、立地する基礎自治体や産業界等と連携した地域人材育成の取組（寮機能を含む交流拠点の整備を含む。）や、産業界等からの人材派遣（教師人材バンクの構築支援を含む。）等の伴走支援による実践的な専門高校運営モデルの構築等を進める。また、学校の通信ネットワークの改善に取り組む。地域コミュニティや産業界の学校教育への参画強化、キャリア教育やA I 活用による英語での地域の魅力発信等を進めるとともに、郷土に関する教育の観点を含めて次期学習指導要領に向けた検討を進め、必要な措置を講ずる。



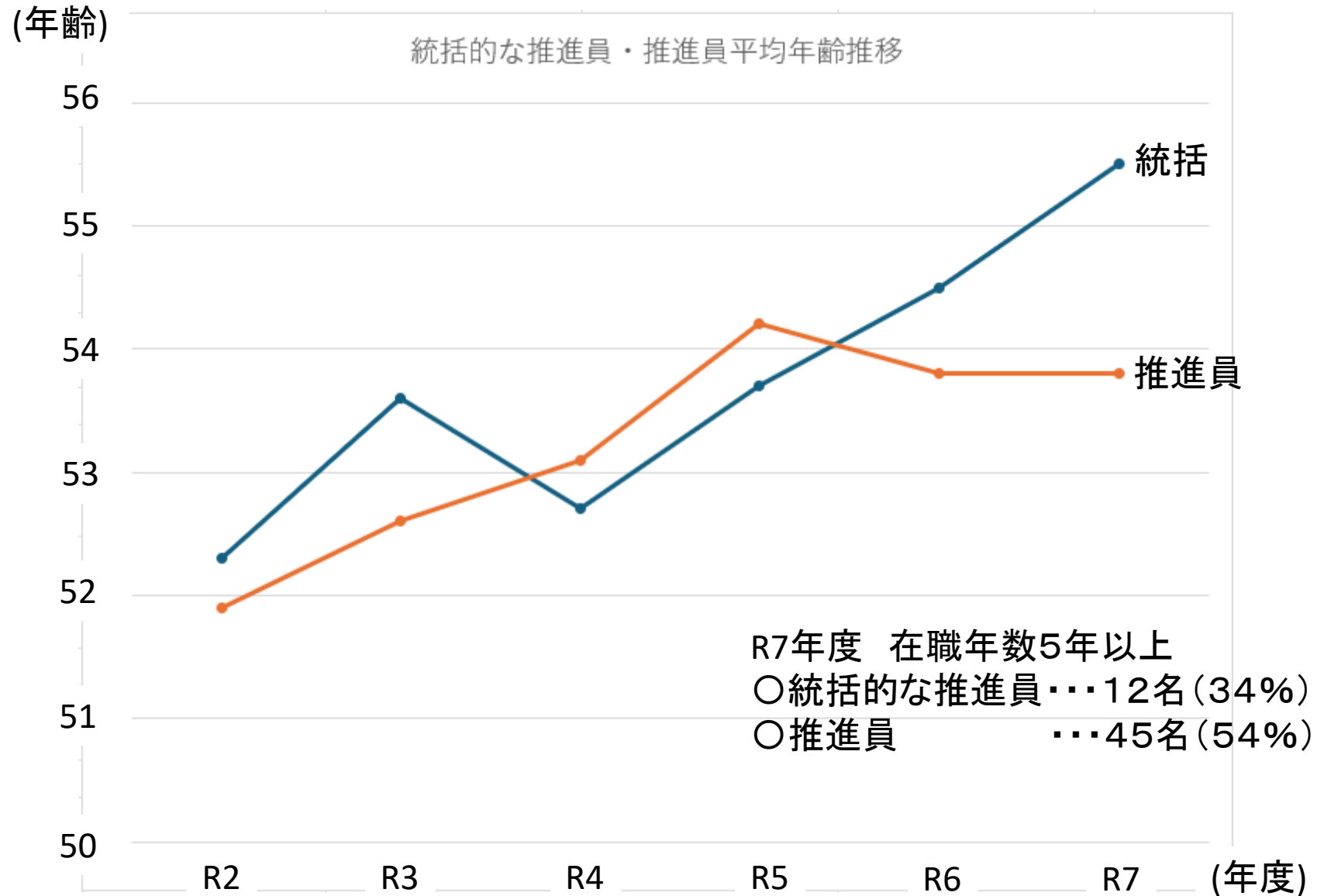
ますます統括的な推進員・推進員は重要になってくるが、

「後任がいらない」

「辞めたくても辞めることができない」

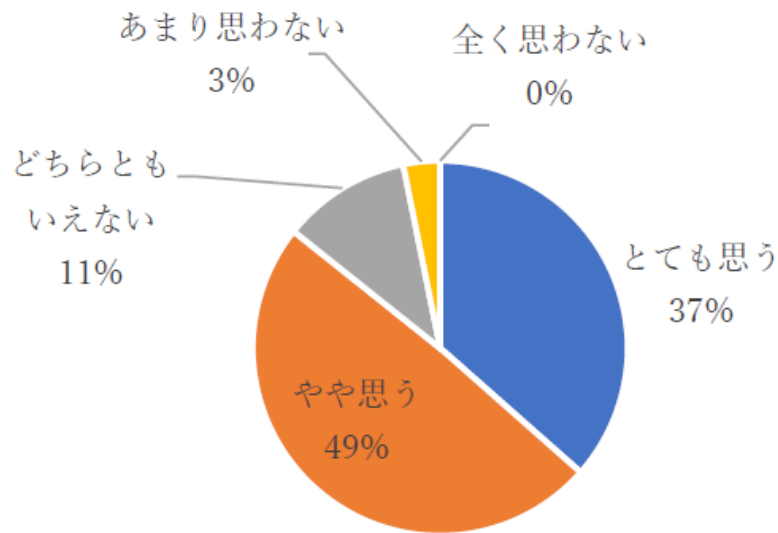
という声

# 統括的な推進員・推進員平均年齢の上昇

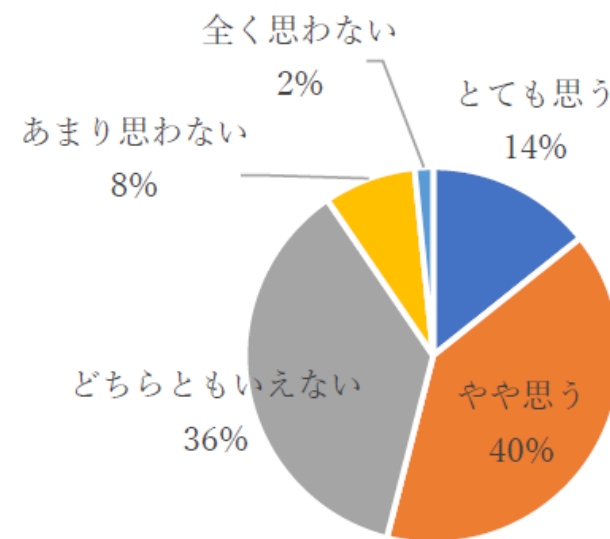


# 統括的な推進員・推進員対象アンケート結果①

8. (統括的な) 推進員として活動をしていて、「やっていてよかった」と思いますか。



9. 今後も(統括的な)推進員の活動を続けたいと思いますか。

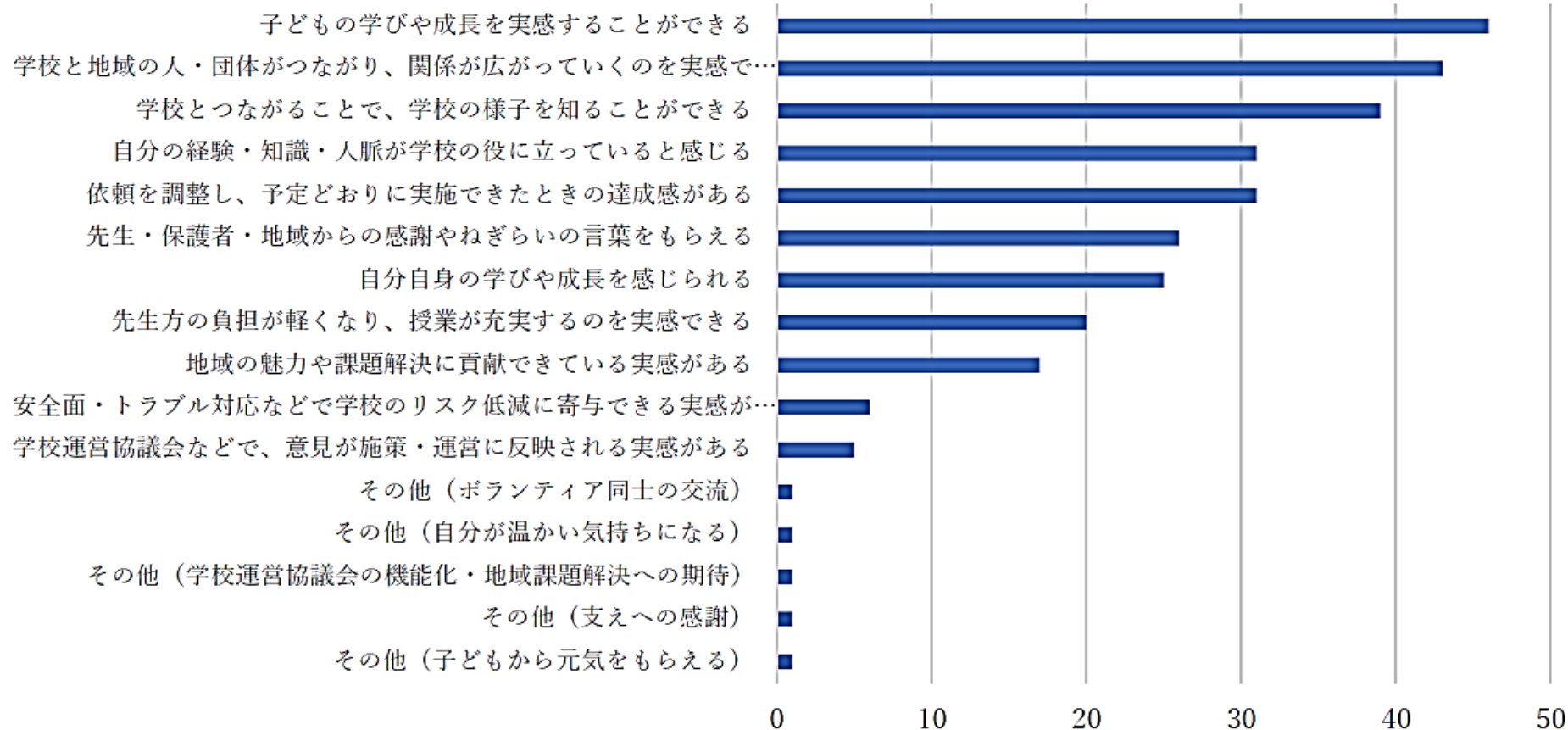


静岡市統括・推進員対象アンケート(R7.12.24〆切・回答数64)

「やっていてよかった」と思う推進員は86%だが、続けたいと思う推進員は54%

## 統括的な推進員・推進員対象アンケート結果②

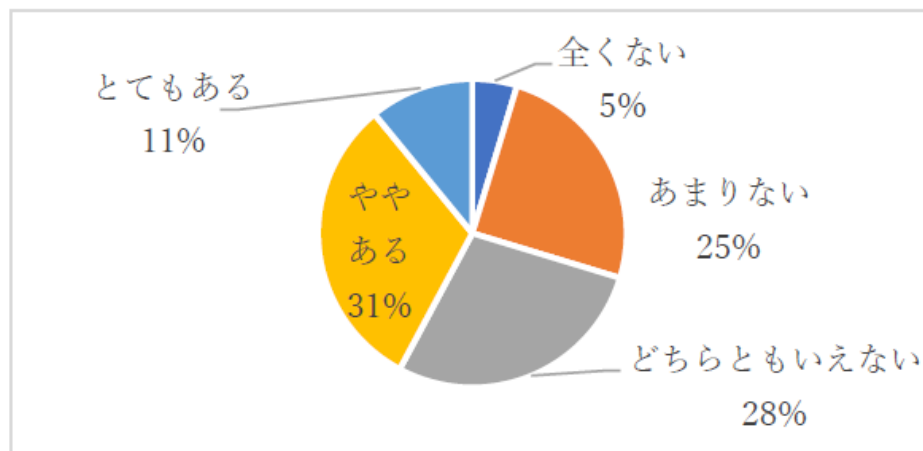
### 10. どのような「やりがい」がありますか。





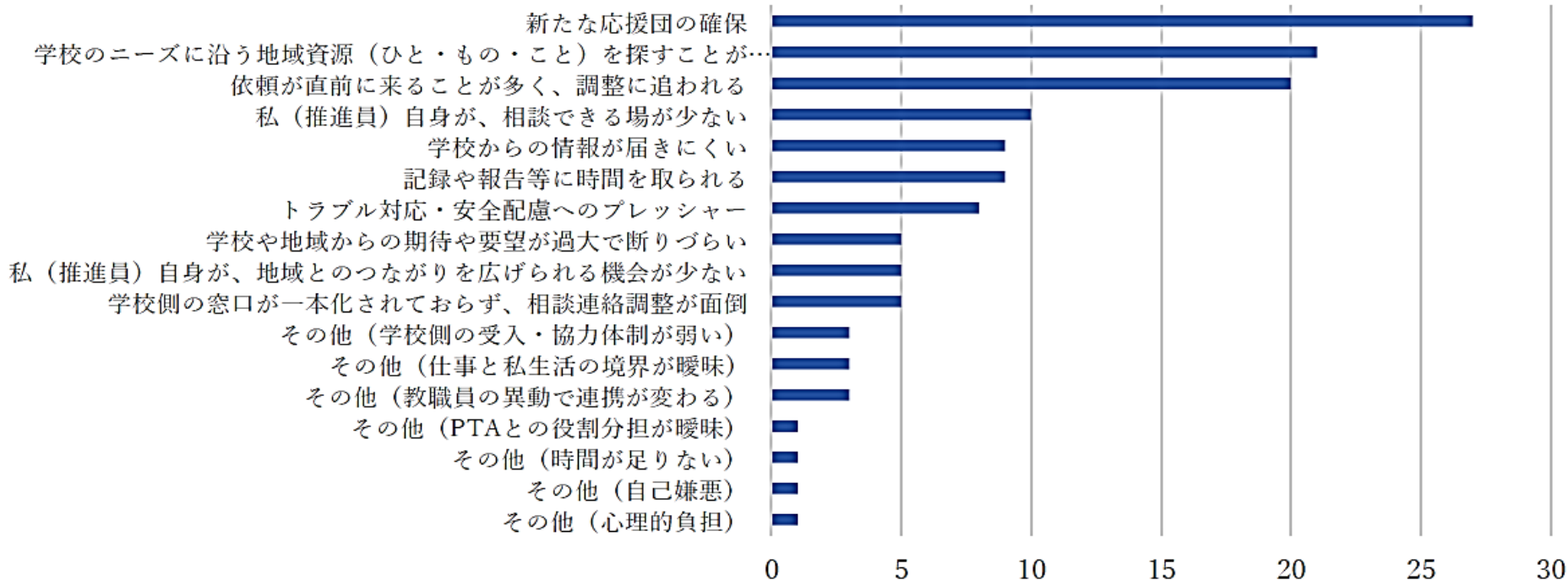
# 統括的な推進員・推進員対象アンケート結果③

## 11. 学校応援団の仕事に「負担感」があるか。



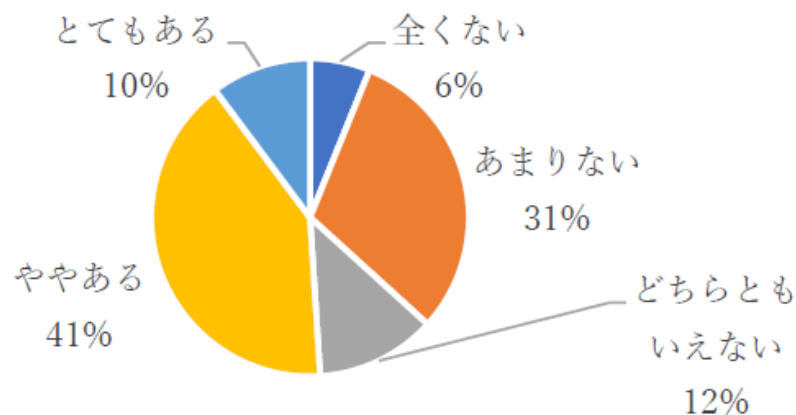
「学校応援団の仕事に負担感がある」と思う推進員は42%

## 13. 学校応援団のどのようなところに「負担感」がありますか。



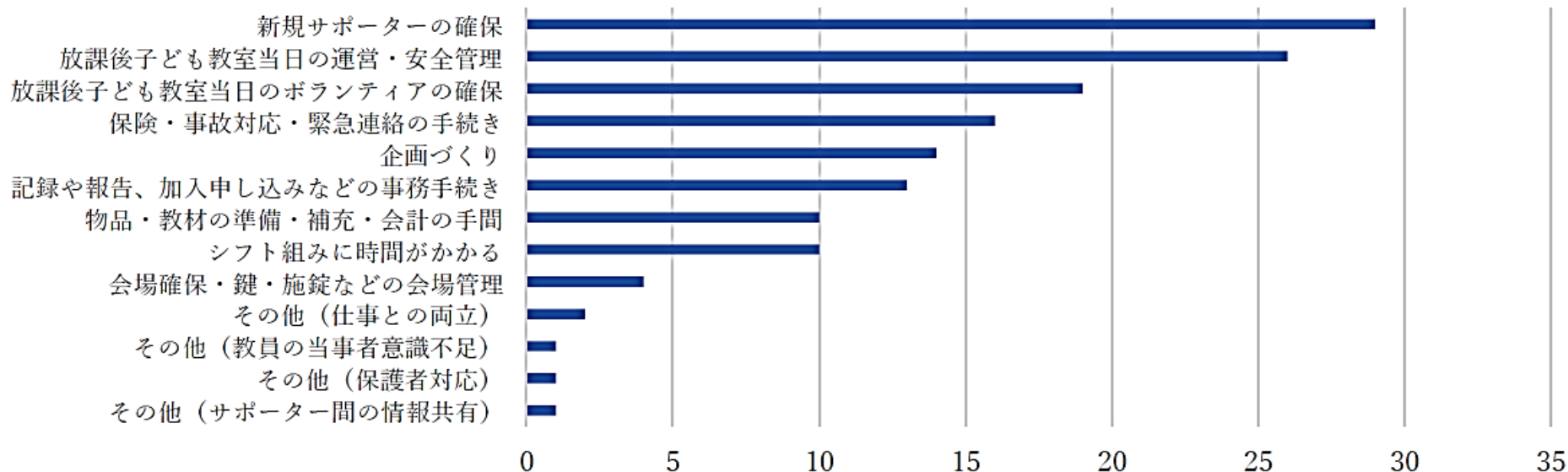
# 統括的な推進員・推進員対象アンケート結果④

12. 放課後子ども教室の仕事に「負担感」があるか。



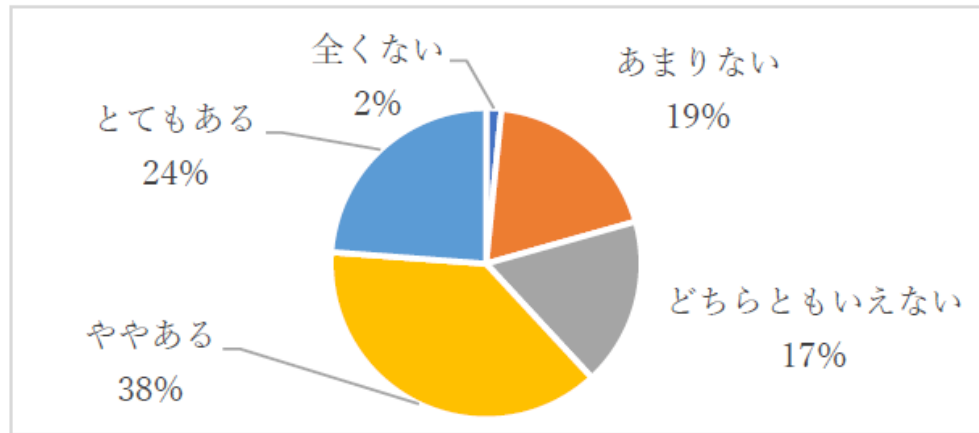
「放課後子ども教室の仕事に負担感がある」と思う推進員は51%

14. 放課後子ども教室のどのようなところに「負担感」がありますか。(統括的な推進員は次の質問へ)



## 統括的な推進員・推進員対象アンケート結果③

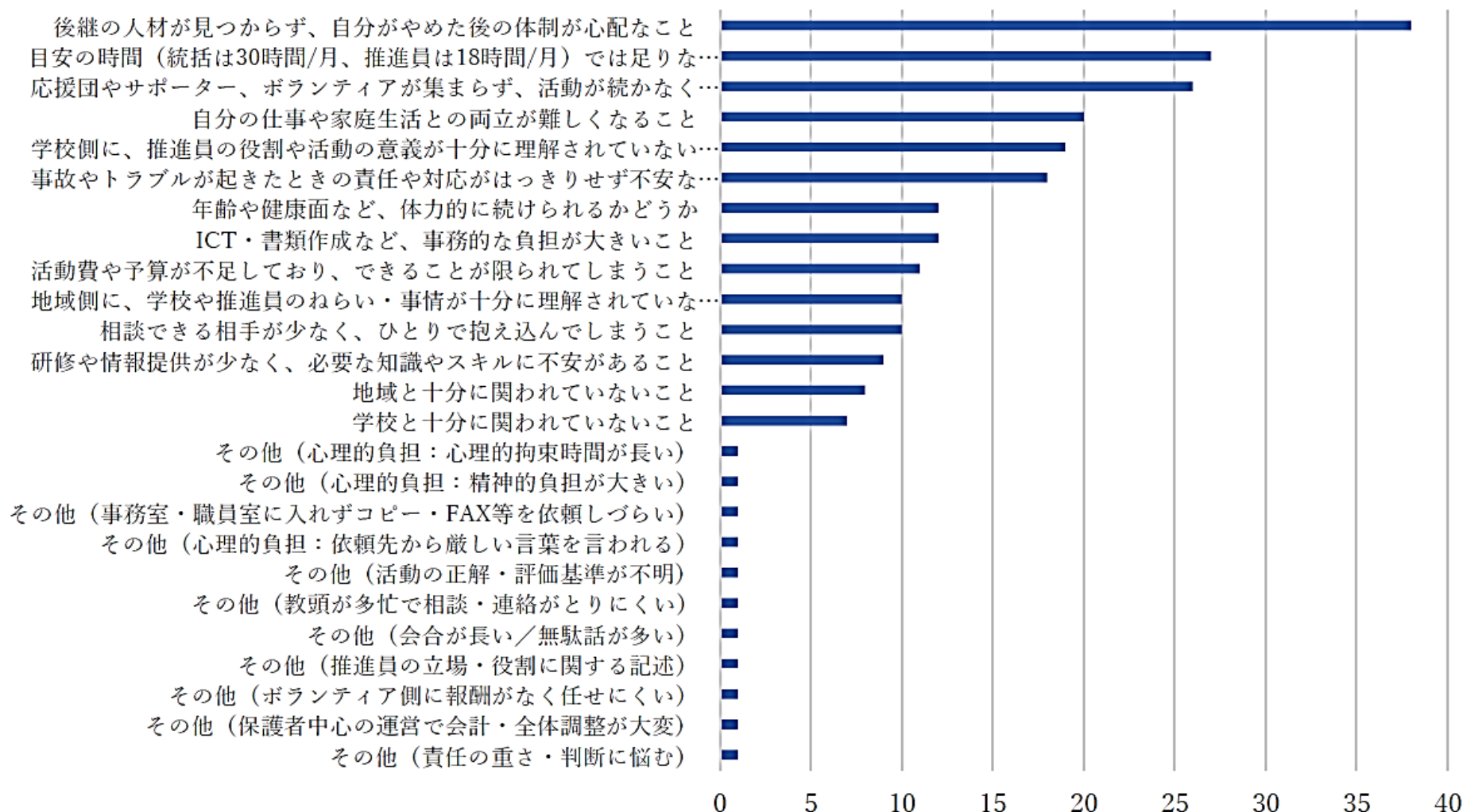
15. (統括的な) 推進員としての仕事を続けることに、「不安」や「悩み」はありますか。



「仕事を続けることに不安や悩みがある」と思う推進員は62%

# 統括的な推進員・推進員対象アンケート結果③

## 16. どのような「不安」や「悩み」がありますか。





# “学校・地域ひとつなぎ”コーディネーター養成講座

## <目的>

地域全体で子どもたちの成長を支えるために、学校と地域をつなぐコーディネーター役を担い、学校の教育活動へ参画し、学校支援・放課後の居場所づくり等の連携・協働活動を推進していくことができる人材を育成し、地域と学校との連携・協働体制を強化していく。

⇒修了後は、統括や推進員として活動できる人材の育成を目指す。

## <位置づけ>

静岡シチズンカレッジ「こ・こ・に」の1講座

## <募集方法>

- ・区役所、生涯学習交流館へのチラシ配架
- ・小中学校、統括的な推進員への受講声掛け依頼
- ・市ホームページへ掲載

## “学校・地域ひとつなぎ” コーディネーター養成講座

受講生  
募集

- ・子どもたちの成長を地域全体で支えるために、学校と地域をつなぐコーディネーターや放課後の子どもの居場所づくり、地域人材のネットワークづくりなどを推進する人材を育成します。
- ・学校と地域の連携・協働のあり方、活動プログラムの考え方や発信のコツを学びます。実際の活動現場の見学等も行います。

学校応援団

コミュニティ・スクール

放課後子ども教室

- ① 7/17(木) 地域学校協働活動、コミュニティ・スクールとは？
- ② 7/30(水) 学校・地域連携研修会へ参加
- ③ 9～10月 放課後子ども教室の視察
- ④ 10/23(木) 学校ニーズを地域のやる気につなぐには子どもの安全を守る
- ⑤ 11/20(木) “伝わる”おたよりのつくり方
- ⑥ 12/18(木) アイデアを全員で共有  
ふりかえり

13:30～16:30 @「来・て・こ」

(駿河区小鹿2丁目25-45)

※2・3回目除く



定員  
受講料  
申込

30人 ※多数選考  
無料 ※お車で越しの場合は、「来・て・こ」駐車場をご利用ください。  
2025年6月27日(金)必着

- ①QRコードから電子申請フォームにアクセス
- ②申込書を教育総務課へ提出(郵送・FAX・持参)

〒424-8701 静岡市清水区旭町6-8  
教育総務課 社会教育係宛て



！ご注意！

・申込期間終了後、選考結果をお知らせいたします。申込者が多数の場合は、書類選考をさせていただきます。  
・申込用紙にてご提出いただきました個人情報につきましては、本講座及び「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」に関する受講申込みの受付、選考結果の通知、講座の運営、市の事業への協力依頼、修了後のアンケートの送付等に使用させていただきます。本講座への申込みをもって、以上に同意を得たものとします。



↑市HP



↑電子申請フォーム

# “学校・地域ひとつなぎ”コーディネーター養成講座実績

|           | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | 合計  |
|-----------|-----|-----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 修了生数      | 19  | 28  | 22 | 17 | 21 | 30 | 26 | 24 | 187 |
| 統括になった人数  | 3   | 1   | 5  | 2  | 1  | 8  | 4  | 2  | 26  |
| 推進員になった人数 | 4   | 8   | 6  | 6  | 3  | 5  | 5  | 2  | 39  |

養成講座によって、統括的な推進員・推進員の拡充につながり、一定の成果が出ている。特に統括的な推進員不在の中学校区が多かった時期(R4年度まで)は、拡充に大きな役割を果たした。

R5年度以降は、「交代」という新たな時期に入り、養成講座を修了したからといって、居住の学区に空きがなければ、統括的な推進員・推進員として活動することができない状況となっている。

## テーマ

「本市の統括的な推進員・推進員の配置を継続するために、市教委として継続すべき点と改善すべき点」

視点① 現行の統括的な推進員・推進員の選任・委嘱の仕組みを前提とし、仕組みを大きく変更せずに実施可能な改善策  
(例：人材育成、情報共有の方法、次期候補者の発掘・育成、関係機関との連携強化等)

視点② 統括的な推進員・推進員の選任・委嘱の制度や運用方法そのものについて、中長期的な視点から見直しを検討すべき点  
(例：任期の設定、選出主体のあり方、学校運営協議会との関係性、制度設計の再構築等)